行事報告書(自主活動)

報告者:　仲谷貞夫

行 事 名	甲山探鳥会5月例会
実施日時	2025 年5月15日(木曜日) 10:00～12:00　　天候: 晴　　気温: 28° C
場 所	甲子園浜
参加人員	23名　(内訳 MNC 13名 、 一般参加 10名)
参加者	MNC　高橋(博)、沼田、吉田、西岡、藤裏、花島、池田、藤田、三仲、樋口、森本(和)、森永(啓)、仲谷 一般参加　大西、佐藤、別所、山田、野口(雅)、野口(安)、山下、岡、高木、黒田 (敬称略)
観察鳥	鳥数 23 種 カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、チューダイサギ、コサギ、コチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、コアジサシ、ミサゴ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、(ヒバリ)、ツバメ、コシアカツバメ、ムクドリ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、 (　)内の鳥は鳴き声のみ
観察概要	5月10から16日までは野鳥週間となり全国的にいろんな行事が計画されていますが、ちょうどその最中の甲山探鳥会となりました。今回は春秋に日本に渡来する旅鳥のシギやチドリを主なる観察対象とした観察会です。 スタートはこれまでとは逆に鳴尾川の河口付近から開始しました。鳥達は離れた堤や砂州にいるため見分けが難しいのですが目指すシギ・チドリを探し、先ずはキアシシギ、イソシギ、コアジサシなどをスコープの助けも得ながら確認出来ました。そして堤防を西方向に歩きながらじっくり見ているとアオサギやコサギの他、小柄ですが、コチドリ、メダイチドリ、そして本日の1番のターゲットであるキョウジョシギ達が餌を求めて動き回る姿が観察出来ました。 また、遠くにある突堤の端にはミサゴの大柄な姿を見つけ、魚を捕食する様子がはっきりと確認出来たのも大きな成果でした。昼には自然環境センターの横で鳥合わせし解散としました。 普段お馴染みの鳥達を含め23種と丁度本日の参加者と同数の鳥に出会え、まずは成果有りの観察会としました。なお、森永リーダーからシラサギの種類分けについて最近見直しがされていると説明があり、今回もチュウダイサギとする事例がありましたが、今後の見分けが難しそうでした。 (仲谷記) 一般参加者感想 ・今回シギやチドリの姿を見ることが出来て良かった。一番印象に残ったのは近くでじっくり観察出来たキアシシギの綺麗な姿でした。　(別所さん) ・今回初めての参加でしたが、沢山の鳥に出会え、スコープで見る鳥の姿は素晴らしかった。今日は暑かったですが、また是非参加したいです。　(高木さん)
連絡事項	来月6月から9月までは甲山探鳥会は休みます。次回は10月31日の夙川となります。奮ってご参加ください

参加者と観察の様子

観察出来た鳥達

キアシシギ

コチドリ

キョウジョシギ

メダイチドリ

コアジサシ

チュウシャクシギ

魚を捕食するミサゴ

チュウダイサギ

コシアカツバメ